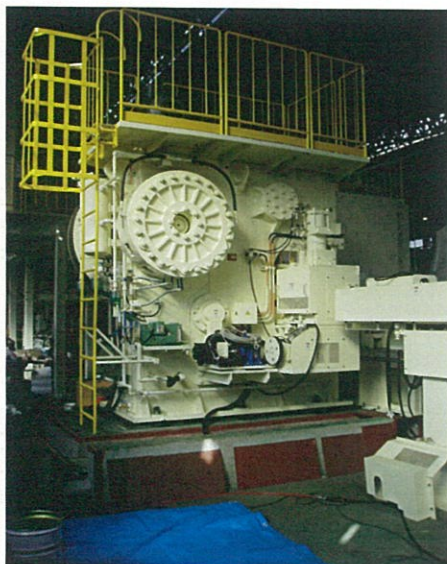


機械基礎 新設例1 切断機本体部基礎の表面精度調整工事 (セルフレベリング)

新設の切断機本体を設置するためセルフレベル性能に優れたアルファテック150を打設して表面精度を調整し、機械据付けのレベル調整とグラウトが削減できます。また、セメントグラウトの基礎と比較して耐油・耐薬・耐水性に優れているため基礎コンクリートの劣化を防ぎます。



機械設置後の全景

施工手順 →



施工前の基礎状況



チッピング完了(深さ約30mm)



型枠設置・シール完了



グラウト打設・厚み20mm(アルファテック830)

⇒



グラウト完了(アルファテック830)



セルフレベリング材混合(アルファテック150)



セルフレベリング材打設



打設完了

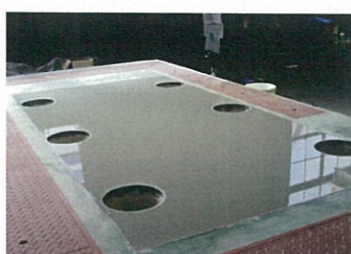
⇒



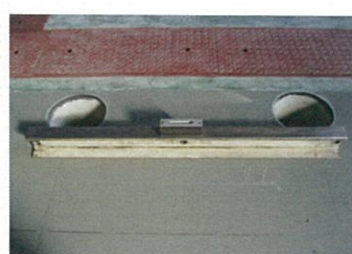
養生



仕上



セルフレベル完了



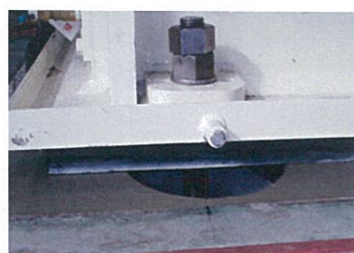
表面レベル2/100(mm/m)



⇒



機械装置の設置完了



アンカー孔



アンカー孔へ型枠設置



アンカーグラウト完了(アルファテック800)

IQ.NO790092
アルファテック150
アルファテック800
アルファテック830